



クラブ・

サークル

訪問

第1回

サンバパーティー

芸大生たちは、創作・演奏に研鑽を積む一方で
さまざまなクラブ、サークルに属している。

「明るく」「楽しく」「美しく」活動する、

東京芸大の部活 を紹介する。

お祭り好きの 打楽器アンサンブル

野村真理

音楽学部の片隅にある部室で活動し始めてはや四半世紀
今や芸祭をはじめ、お祭り騒ぎの大好きな芸大生にとって
なくてはならない存在となったサンバ・パーティーは、周
囲からうるさいと文句を言われようと、今日もめげずに活
動している。

さて、サンバというと、キラキラの派手なビキニのお姉
さんが華やかに踊る姿を想像する人が多いと思うが、サン



サンバ・パーティーの晴れ舞台、秋の「芸祭」



狭い部室での、熱のこもった練習風景



バにもさまざまな形態があり、私たちサンバ部ではバツカ
 ータ (Batucata) と呼ばれる、旋律や歌唱のない純粋な打
 楽器アンサンブルを活動の中心にしている。芸大の入学式
 や卒業式、芸祭などで聞かれる騒々しい音といえば心当た
 りのある人も多いだろうが、それが私たちのサンバである。
 現在、部員は約三〇名。打楽器アンサンブルというと、
 部員は音楽学部生ばかりだと思われがちだが、部員の半数
 は美術学部生である。残りの音楽学部生も、打楽器未経験
 の楽理科の学生がほとんどで、打楽器専攻の学生など一人
 もいない。そんな頼りない部員構成だが、皆楽しいことや
 目立つことが大好きで、持ち前の美的感覚と根性を生かし
 ながら(?)、練習を重ねている。練習といっても楽譜など
 は存在しないので、もっぱら先輩から後輩への口頭伝承が
 中心である。そのため皆仲がよく、上下の結びつきも強い。
 芸祭の時期ともなると、毎年OBやOGがたくさん集ま
 り、練習に参加して教えてくれたり、模擬店の出店準備を
 手伝ってくれたりする。また、現在はそれぞれ独立して活
 動しているが、もともと芸大サンバ・パーティーが母体と
 なって結成され、毎年浅草サンバ・カーニバルを賑わして
 いる学生サンバ連合のウニアン・ドス・アマドーリス
 (Uniao dos amadores) のメンバーたちもかけつけてくる。
 そのなかには、文字通り一肌脱いで、例のキラキラのビキ
 ニで踊ってくれる人もいて、芸祭を盛り上げるのに一役買
 ってくれている。このように多くの先輩や仲間たちに支え
 られて、サンバ・パーティーの今日がある。私たちも、新
 たな歴史のページを築けるよう積極的に活動していきたい。
 い。

三月　そろそろまたサンバが聞こえる季節ですね

(のむら・まり / 音楽学部楽理科三年)